

●型式:2ウェイ2スピーカー・バスレフ型●使用ユニット:ウーファー・18cmコーン型、トウィーター・2.9cmドーム型●クロスオーバー周波数:1.6kHz●感度:88dB/W/m●インピーダンス:8Ω●寸法/重量:本体・W260×H380×D442mm/13kg、スタンド部・W280×H1,146×D442mm/26kg●備考:専用スタンド付属●問合せ先:ヨシノトレーディング株式会社050(3375)3975

ディアパソン
Astera
¥987,000(ペア)

ゆつたりとした語り口。量感ある低音が響き渡る
ディアパソンのスピーカーが再上陸。第二弾は同社フラグシップとなる2ウェイブックシエルフ機

黛健司



になった。

試聴したのは現在同社の最上級機となる『アステラ』。同社が言うところの『ダイヤモンドシェイプ』の外観は、デザインのエレガントさとユニットのパフォーマンスを最高に発揮する能力を兼ね備えたもの。ウォールナットの無垢材を熟練クラフトマンが特殊な技法で複雑に組み上げた多面ダイヤモンド形状は、スピーカーから波紋が広がるように放射状に音が放出され、理想に近いポイントソースラジエーションを可能とし、リスナーの聴く位置に関わらず自然な音楽の響きを伝える。多

面体の構造はエンクロージャーの内部にまで及んでおり、形状や厚みの違

ツドを効果的に配置し、内部反射を積極的にコントロールすることで不要な共振を排除している。
トウィーターは29mmのソフトドーム型。ウーファーは金属蒸着成型のフェイズプラグをもつネクスステルコーティングペーパーコーンを採用。クロスオーバーは、ヴァン・デン・ハル社製無酸素銅&シルバークーブルを用いたハンドワイアリング仕様だ。専用の『4/U』スタンドは、異種マテリアルを独自の工法で組み上げたレゾナンスダンピングシステムを採用、重量配分を考慮したデザインと併せて、低域のナチュラルな再生を実現している。

決して大口径とは言えないユニット、そして大型とは言いかねるエンクロージャーでありながら、余裕の感じられる量感たっぷりな低音が響いてきて、悠揚迫らぬ風情の音を聴かせてくれる。いわゆるハイエンドスピーカーのような、どこか聴き手に緊張感を強いる音ではなく、もつとゆつたりと長閑に聴けるところが、同じイタリア生まれのスピーカーといっても、最近のソナス・ファ

メロディ、旋律、あるいは音叉と訳される『ディアパソン』という言葉は、もともと『いろいろな倍音を含んだハーモニックな中立音』

を意味して、設計者であるアレックス・ドロ・スキアーベのスピーカーに対する姿勢をうかがい知ることが出来る。かつて日本にも輸入されていたが、このたびEARの輸入元でもあるヨシノ

レーディングにより再輸入されること

ら

ら

ら

ら